

中学地理プリント（過去問類似）

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/8

問1 ブラジルの経済的特徴について、その背景と現状を述べた文として正しいものはどれですか。（2024年 富山公立入試 類似）

1. 広大な国土や資源を背景に経済発展を続け、南アメリカ最大のGDPを誇る新興経済国（BRICS）の一つとなっている。
2. 農業を主産業としているためGDPの総額は低く、1人あたりの国内総生産も南アメリカで最低水準にとどまっている。
3. 1人あたりの国内総生産が1万ドルを超えており、既に経済成長が停滞した成熟した先進工業国として分類される。
4. コーヒーなどの特定の農産物の輸出にのみ依存しているため、2020年のGDP総額はアフリカの諸国よりも低い水準となった。

問2 オセアニアに位置するニュージーランドの国旗には、左上の部分に「ユニオンジャック」と呼ばれるデザインが含まれています。このデザインは、ニュージーランドがかつてどこの国の植民地であった歴史を示しているか、適切な国名を選択してください。（2024年 徳島公立入試 類似）

1. イギリス
2. アメリカ合衆国
3. フランス
4. オランダ

問3 オーストラリアがとっている国際的な役割や社会政策について述べた説明のうち、歴史的な背景や現在の取り組みとして正しいものを選びなさい。（2025年 岐阜公立入試 類似）

1. かつては白人以外の移住を制限する政策をとっていたが、現在は多文化主義を掲げ、アジア太平洋経済協力（APEC）の設立を主導するなど近隣諸国との経済的結束を強めている。
2. 先住民であるマオリの権利を建国当初から認めており、その文化を基盤としながら、現在はASEANの主要メンバーとして東南アジアの経済発展を主導している。
3. イギリスとの歴史的つながりを重視し、現在も貿易額の過半数をヨーロッパ諸国が占めているため、アジア太平洋地域との経済協力組織には参加していない。
4. 内陸部の広大な砂漠地帯を開発するために、先住民であるアボリジニの居住区をすべて都市部に移転させ、白人のみの農業共同体を形成する政策を継続している。

問4 オーストラリアの貿易構造の変化について、1960年には輸出総額の約26%をイギリスが占めていましたが、2020年の統計では中国が40%に達し、次いで日本や韓国が上位に入りました。このような輸出相手国の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）

1. 地理的に近いアジア諸国の経済発展に伴い、貿易の軸足がヨーロッパからアジアへと移り変わった。
2. イギリスの欧州連合（EU）離脱により、旧宗主国としての経済的結びつきが1960年当時よりも強まった。
3. アメリカ合衆国の経済成長に伴い、2020年時点ではアメリカが中国を抜いて最大の輸出相手国となった。
4. 南太平洋の島々との貿易を優先するため、アジア諸国への輸出割合を意図的に引き下げた。

問5 アルゼンチンの首都ブエノスアイレス周辺に広がる広大な平野「パンパ」の農業と気候の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この地域は1月頃に気温が高く7月頃に低くなる季節特性を持ち、年間を通じて安定した降水量が見られる地域です。（2019年 神奈川県公立入試 類似）

1. 温暖湿潤気候のもと、広大な土地を活かして企業的な牧畜や小麦の栽培が行われている。
2. 熱帯の気候を活かし、広大なプランテーションでコーヒーや天然ゴムの栽培が行われている。
3. 地中海性気候に属しており、夏の乾燥に強いオリーブやぶどうの栽培が盛んである。
4. 乾燥した気候のため、地下水路を利用してわずかな土地で綿花や大麦を栽培している。

問6 地球の表面を覆う巨大な岩板であるプレートが、互いにぶつかり合ったり沈み込んだりしている境界付近では、火山や地震の発生源が特定の場所に集中し、地図上で帯状に分布する傾向があります。このような場所を総称して何と呼びますか。（2024年 岐阜公立入試 類似）

1. 変動帯
2. 安定陸塊
3. 楕状地
4. 卓状地

問7 オセアニアに位置するオーストラリアの貿易について、2013年の統計資料では輸出総額の上位2品目が鉄鉱石（約672億ドル）と石炭（約386億ドル）となっていることが示されています。このようなこの国の貿易の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 兵庫公立入試 類似）

1. 石炭や鉄鉱石といった豊富な鉱産資源が主要な輸出項目となっている。
2. 原油の輸出額が最も多く、次いで天然ガスが多くなっている。
3. 酪農が盛んなため、チーズやバターといった乳製品が輸出の大部分を占めている。
4. 羊毛や小麦の輸出が中心であり、鉱産資源の輸出は極めて少ない。

問8 南太平洋の島国サモアのように、熱帯や亜熱帯地域の河口や波の穏やかな入り江付近において、潮の満ち引きの影響を受ける場所に広がる森林を何と呼びますか。（2024年 岐阜公立入試 類似）

1. マングローブ
2. タイガ
3. サバナ
4. ステップ

答え合わせ・解説

問1	答え 1 広大な国土や資源を背景に経済発展を続け、南アメリカ最大のGDPを誇る新興経済国（BRICS）の一つとなっている。	ブラジルは鉄鉱石などの鉱産資源や、大豆・牛肉といった農産物の輸出、さらには航空機産業などの工業化を背景に、南アメリカで第1位のGDP規模を持つに至りました。2020年時点のGDPは約1兆4000億ドルであり、依然として新興経済国のリーダー的な存在として高い経済的地位を保っています。
問2	答え 1 イギリス	ニュージーランドは19世紀にイギリスの植民地となり、その後、主権国家として独立した歴史を持っています。国旗にイギリスの象徴であるユニオンジャックが描かれているのは、かつての宗主国との歴史的な結びつきや、現在もイギリス連邦（コモンウェルス）の一員であることを示しています。
問3	答え 1 かつては白人以外の移住を制限する政策をとっていたが、現在は多文化主義を掲げ、アジア太平洋経済協力（APEC）の設立を主導するなど近隣諸国との経済的結束を強めている。	オーストラリアは1970年代に白人優遇の「白豪主義」を撤廃し、異なる文化を互いに認め合う「多文化主義（多文化社会）」へと舵を切りました。経済面でも、1989年に日本などとともにAPECを設立し、資源や農産物の輸出先として重要なアジア太平洋地域との連携を強化しています。先住民民族アボリジニに対しても、近年では過去の政策に対する謝罪や権利回復の動きが見られます。
問4	答え 1 地理的に近いアジア諸国の経済発展に伴い、貿易の軸足がヨーロッパからアジアへと移り変わった。	オーストラリアはかつてイギリスの植民地であった歴史的背景から、1960年当時はイギリスをはじめとするヨーロッパ諸国との貿易が中心でした。しかし、イギリスが当時の欧州共同体（EC）に加盟したことで関係が変化したほか、地理的に近い日本や中国などのアジア諸国が急速な経済成長を遂げ、鉄鉱石や石炭などの資源需要が高まったため、輸出相手国がアジア中心へと大きくシフトしました。
問5	答え 1 温暖湿潤気候のもと、広大な土地を活かして企業的な牧畜や小麦の栽培が行われている。	ブエノスアイレス周辺のパンパ（湿潤パンパ）は、日本の大部分と同じく温暖湿潤気候に属しています。この地域は南半球に位置するため、北半球とは季節が逆になりますが、適度な降水量と広大で平坦な地形に恵まれています。こうした自然条件を背景に、大型機械を用いた大規模な小麦栽培や、肉牛を放牧する企業的な牧畜が発展しました。
問6	答え 1 変動帯	地球の表面は十数枚のプレートに分かれており、それらが動くことで境界部分に大きな力が加わります。その結果、地殻変動が激しくなり、地震や火山活動が特定のエリアに集中して発生します。この帯状の領域を変動帯と呼び、日本列島や南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈などがその代表例です。
問7	答え 1 石炭や鉄鉱石といった豊富な鉱産資源が主要な輸出項目となっている。	オーストラリアは広大な国土に多様な資源を擁しており、かつては羊毛や小麦といった農畜産物の輸出が中心でしたが、現在は鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が輸出の柱となっています。統計データにおいて鉄鉱石と石炭が上位を占めていることは、この国が世界有数の資源供給国であることを裏付けています。原油や乳製品が最大品目であるという説明は誤りです。
問8	答え 1 マングローブ	熱帯や亜熱帯の沿岸部において、海水と淡水が混ざり合う「潮間帯」と呼ばれる場所に発達する森林の総称です。オセアニアの島々や東南アジアなど、温暖な地域の河口付近に特有の景観を作っています。選択枝にあるタイガは冷帯の針葉樹林、サバナは熱帯の乾季がある草原、ステップは温帯の半乾燥帯に広がる草原を指します。